

松平文庫テーマ展 29
「剛明果決の人 長谷部甚平」
開催要項

1 会 期 令和2年9月10日（木）～10月21日（水）

休館日：月曜、第4木曜、祝日の翌日

2 場 所 福井県文書館閲覧室（観覧無料）

3 趣 旨

幕末の福井藩で藩政改革に取り組んだ藩士として、しばしば橋本左内や由利公正の名前が注目されますが、殖産興業策を主導した人物に長谷部甚平（1818～1873）がいます。

中根雪江から「学識あって剛明果決（ごうめいかけつ。学問と見識があって、心が強く、知は明らかで、なおかつ決断が早い）」と評された人物で、横井小楠や坂本龍馬からも高く評価されていました。

本展示では、松平文庫の履歴資料を中心に長谷部の生涯をたどり、「松平慶永政権」を支えた一人の藩士の人物像を紹介します。

4 主な展示資料（すべて松平文庫）

- ・「姓名録」…長谷部甚平の諱（実名）、家督年、改名時期を記す。
- ・「剥札」…藩の監察役「目付」への就任を記す。
- ・「迂策」…長谷部による藩制改革案。志気や文武心がけ・才能重視の藩士登用を説く。
- ・「奉答紀事」…中根雪江による長谷部の人物評が載る。
- ・「給帳」…松平慶永代の藩士名簿。財政・民政担当の「御奉行」に長谷部の名が載る。
- ・「村田巳三郎宛長谷部甚平書翰」…横井小楠との三国行の成果を村田に報告。
- ・「越前世譜」…町政担当者「町奉行」として名前が載り、挙藩上京計画にも触れる。
- ・「士族略履歴」…挙藩上京計画の頓挫による処分を記す。
- ・「官員録」…明治元年の新政府職員録。美濃国笠松県知事に長谷部の名前が載る。